

乳房再建 有茎腹直筋皮弁術を受けられる患者

氏名

主治医

日付	月 日 入院日	月 日 手術前日	月 日 (手術日)		月 日 術後1病日	月 日 術後2病日	月 日～ 日 術後3病日～退院前日	月 日 退院日
			(術前)	(術後)				
治療			3時間以上の手術は肺血栓予防ストッキングを着用していただきます	酸素を吸入します 医師の指示で酸素を止めます		創の観察をします		
処置	担当看護師が治療や看護の上で必要なことについてお話を伺います お薬を飲んでいる方は持参して下さい ネームバンドを装着します	腋窩の除毛をします 臍処置をします	手術する場所の近くに印をつけます 上半身の下着を外し、病衣に着替えます 点滴を開始します	点滴(水分補給+抗菌剤)します 下腹部を腹帯で圧迫します 創部に血液やリンパ液などを排出するためのチューブが入っています 膀胱に排尿用の管が挿入されています 看護師が頻回に伺い、手術後の検温・観察をします 創部の観察をしていきます	医師の指示にしたがって、点滴をします 必要な内服薬があれば開始します 歩行ができれば状況に応じて、膀胱の管は抜きます 肺塞栓予防のストッキング着用は医師の指示があるまで継続します	必要に応じてガーゼ交換や塗り薬を塗る処置を行います	排尿が少なくなれば創部に入っているチューブが抜けます	
検査	手術に必要な検査があれば行います	必要時、血液検査があります			必要に応じて血液検査があります			
食事	制限はありません	21時以降飲食禁止です	朝7時以降は飲水禁止です うがいが必要です		術翌日から食事再開になります	制限はありません		
安静度	制限はありません	制限はありません	制限はありません	手術後3時間はベッド上安静です 胸部・上腹部が圧迫されないようにすれば身体の向きを変えられます 腹圧はかけないように、腹部はのばさないように、うつぶせは禁止です	制限はありませんが、胸部・上腹部が圧迫されない様にお腹の傷を伸ばさない様に注意をしてください 腹圧をかせかない様にして下さい 医師の立ち会いのもと手術後はじめての歩行をします			
清潔	入浴またはシャワーができます マニキュアは落としておいて下さい	除毛が済んでから、入浴またはシャワーができます 洗髪しておいて下さい	午後の手術の場合は入浴またはシャワーができます お化粧はしないでください		看護師がお体を清拭します	回復の程度に応じて下半身の入浴・洗髪などができます 術式によっては、傷口を濡らさないように全身のシャワー・腹部まで湯船につかる入浴ができます		
説明	担当看護師から手術前後の説明があります 必要物品の確認(ソフラブレイ、T字帯、プレストバンド) 主治医から、入院・手術・治療に関する説明があります					「退院後の生活について」のパンフレット指導を実施します	リンパ節郭清をした場合はリンパ浮腫予防指導を実施します	
リハビリ	リンパ節郭清予定の場合、上肢の運動に支障が生じないように、またリンパ浮腫を予防するために作業療法士からリハビリを指導していただきます				医師の指示のもと、必要に応じてリハビリを開始します			